

平成二十四年四月二十七日受領
答弁第二〇五号

内閣衆質一八〇第二〇五号

平成二十四年四月二十七日

内閣総理大臣 野田 佳彦

衆議院議長 横路 孝弘 殿

衆議院議員河野太郎君提出スマートメーターに関する再質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員河野太郎君提出スマートメーターに関する再質問に対する答弁書

一について

東京電力株式会社（以下「東京電力」という。）及び原子力損害賠償支援機構（以下「機構」という。）においては、東京電力が導入を検討しているスマートメーターについて、調達コストの抑制と透明性の向上の観点から、国内外の企業に対し、仕様に係る提案を募集し、専門家の意見も聴きつつ検討を行っているところであり、現時点において御指摘のような仕様に決まった事実はないと認識している。東京電力及び機構からは、寄せられる全ての提案について、費用対効果や国際標準の動向も踏まえ、通信方式や外部接続性等について、徹底的に検証を行い、その結果を適切に当該仕様へ反映する方針であると聞いている。